

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

横浜市上白根地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

旭北地区においては、地域福祉保健計画・地区別計画の推進母体となる「まちぐるみ福祉推進会議」を中心に、役員・実務者が連携しながら、各種地域課題の共有・解決に向けた取組が推進されています。単位町内会長の交代や、単位町内会の連合からの脱退が続く等、連合町内会を取り巻く環境は変わりつつありますが、昼食会等長年継続している地域活動が多いエリアです。ケアプラザとしては、3年目を迎える生活支援体制整備事業や地域活動・交流事業、地域包括支援センター等各機能をフルに活かしニーズ把握に努めるとともに、活動空白地へのアプローチを引き続き進めてまいります。

【高齢者関係】

高齢化の進行により単身及び高齢者のみの世帯が多く、見守り体制の充実が急務といえます。ここ数年区社協と取り組んでいる「身近な地域のつながり支えあい活動推進事業」を機に始まったサロン・カラオケ・体操の各種事業は、住民主体の活動として地域に定着し一部事業では自主化も図られています。一方、町内会単位の活動は新たな動きもあるため、ケアプラザ5職種が連携し地域活動の活性化につなげます。

【障害児者関係】

偕恵園 辻のあかり、白根学園等、事業を通じてケアプラザとの連携が増えています。一方、それらの施設と地域住民との更なるつながりが持てるよう、橋渡しを意識しながら取り組みます。また、30年度から個別支援級に通う児童への登校支援ボランティアが始動しており、区社協とともに後方支援を展開してまいります。

【子育て関係】

28年度から地域ボランティアとともに開始した小学生向け放課後支援の「子どもの居場所兼学習支援事業」(毎週火曜)を継続しながら、子どもたちのニーズ把握に努めるとともに、自主化等新たな展開への足掛かりを模索していきます。

【その他】

山坂が多く、谷間にある白根通りが生活の中心となっており、交通もバスがメインとなっています。市営地下鉄グリーンラインの延伸や、バス路線の見直し要望等、交通問題への意識が高い面があります。いずれも解決には相当期間を要するものであるため、そこから見える地域課題について丁寧に拾い上げ、地域住民と共に解決に向け取り組みたいと考えます。地理的にケアプラザは地区の南端に位置しています。中心部により近いコミュニティハウスにおいても多数活動が行われており、地域の社会資源としてコミュニティハウスとの連携を進めております。また、旭台自治会内では空き家の活用提案がある中、地区住民のほか、近隣にある特養の地域貢献の取組等につなげていく等、状況の変化に注視しながら、積極的なコーディネートを意識して取り組みます。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- 地域の皆さんが安心して相談できる身近な窓口として、即時対応・全員対応に努めます。
- 民児協との更なる連携強化を進めるために、毎回定例会へ参加し、情報交換や情報提供、個別相談を行います。また、テーマ別研修を実施することで、地域の相談機能の向上を図ります。
- 地域ケア支援会議等で個別課題に関する情報交換や支援方法を検討し、地域での見守り活動や継続的支援へつなげます。
- 地区のかがやきクラブ(老人会)、消費生活推進員、保健活動推進員等との連携により、相談の有無に関わらない顔の見える関係づくりを進めます。
- 自治会館を会場に出張相談窓口を開設し、地域に根ざした相談対応を行います。

(2) 各事業の連携

- 地域ケア会議へ地域活動交流コーディネーター、居宅介護支援事業管理者も参加し、個別支援を通じた地域支援の体制づくりを進めます。
- 5職種定例会を開催、情報共有と地域問題の解決に向けて協議・検討し地域支援に結びつけます。
- 地域住民や地域活動者（自治会町内会・民生委員児童委員）等へのヒアリングや会議出席等を通じて地域ニーズを把握し、介護予防等に関する事業を協働で実施します。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- 法令・条例及び指定管理者募集要項等に定められている体制を遵守します。
- 横浜市社会福祉協議会が定める人材育成計画に基づき、階層別、課題別、職種別各研修に参加します。また、目標管理等による現場に即した人材育成も推進します。
- 法人17施設の職種別連絡会へ職員を派遣し、情報共有と課題解決を進めます。
- 横浜市や全社協等の外部研修へ必要に応じて対象者が参加します。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- 各部門の業務を通じて、地域住民との顔の見える関係づくりを進めます。
- 「身近な地域の支えあい活動推進事業」を通じて住民同士が負担なく見守りあう環境づくりを進めます。
- エリア内のあらゆる社会資源（警察、消防、スーパー、商店等）に地域ケア会議への積極的な参加を呼びかけ、包括的なネットワーク構築を行います。
- 個別支援と地域支援との融合を図るため、エリア内外のフォーマルサービスとインフォーマルサービスの連携を進めます。

(5) 区行政との協働

- 地域ケア会議、地域ケア支援会議や巡回相談等により個別課題の共有と支援の役割分担を進めると共に、支援を必要とする方への的確に支援が届くよう調整を行います。
- 旭北地区支援チームの一員として、地区別計画の推進について統括、リーダー等と密に連携を図り、地区の取組推進に向けて推進します。
- ケアプラザ事業において、旭区の支援を依頼するとともに、必要に応じて区事業においてもケアプラザのノウハウを積極的に提供します。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- 5職種が連携して、地域ニーズに対応した事業を行います。
- 地域アセスメントをもとに啓発や課題解決をねらいとした事業を実施します。
- 地域ニーズや空部屋状況を踏まえ、定期的に開催できる事業（脳トレ・体操を採り入れたサロン等）の企画・実践を行います。
- 子ども関係事業は、地域住民やボランティアに協力を得て実施していくとともに、関係機関との連携を図ります。特に「子どもの居場所兼学習支援事業」では異世代交流を視野に入れた事業を実施し、子育てに関わる支援体制の強化に取り組みます。また、個別支援級に通う障害児の登校支援ニーズへの対応可能なガイドボランティア人材の養成、活動へのフォロー等支援してまいります。
- 貸館利用団体Ⅱに対し、積極的な福祉保健活動へのつなぎとなる事業を展開します。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 設備の経年劣化対策として、ご利用者の要望や意見を踏まえ、調理室や備品設備の更新等利便性の向上を図ります。
- 登録団体向け貸館利用調整会議を開催する他、ケアプラザ広報紙に貸館利用案内カレンダーを掲載し、広く周知します。
- 時間・人数を明確に記載してもらい、活動に適した部屋の提案と有効・効率的な運営を行います。
- より安心してご利用いただける施設を目指し、防災訓練の実施状況等について、広報紙により報告を行います。
- 貸館の利用状況について、より見やすい形での掲示を行います。
- 夜間等比較的稼働率の低い時間帯は、自主事業の実施を通じて、効果的に活用いただけるよう取り組みます。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- 「子どもの居場所兼学習支援事業」に関わる高校生ボランティアや自主事業ボランティア等、具体的なボランティア活動への提案を行うとともに、ボランティアポイント登録研修会などの開催を通じて地域活動人材の育成を行います。
- 小・中・高からの職場体験、施設見学、ボランティア体験等を積極的に受け入れ、福祉教育の取り組みを推進します。
- サロン参加者などに積極的に役割を担っていただけるよう環境づくりを進めます。
- 地域ボランティア情報・ニーズ、ケアプラザ登録ボランティア情報を定期的に整理し、よりタイムリーな情報を提供します。
- 地域のボランティアセンター機能として、ケアプラザ内だけではなく、他施設からの依頼も積極的に受け付け、登録ボランティアの活動の幅を広げていきます。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- 区役所や区社協等、関係機関と情報交換を密に行い、地域に有益な情報を広報紙等で提供します。
- 近隣公共施設と情報共有や地域課題について協議・検討する機会を設けます。
- 地域やケアプラザ情報を掲載した広報紙やチラシを年10回以上発行します。
- ケアプラザ利用団体調整会議を開催し、各団体の活動紹介や交流を図ります。
- 法人ホームページを活用し、地域情報や自主事業の報告など、積極的に情報の提供を進めます。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- 生活支援コーディネーターを中心に、各職種が業務を通じて地域情報・ニーズの把握を進めます。
- 月1回5職種会議を定例開催し、各職種の地域支援の情報共有・進捗確認を行うとともに地域課題の解決に向けて協議・検討し、チームとなって地域支援を進めます。
- 区社協・区職員との連携のもと、重層的な地域支援を進めます。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- 生活支援コーディネーターは総合相談の相談内容共有・区巡回相談への参加・地域ケア会議等への参画などにより、個別ニーズの把握および分析を地域包括支援センター職員とともに進めます。
- 各自治会館等で開催されている活動の場に訪問し、活動内容や参加者の声を伺うことで各単位自治会での活動の理解を深めます。
- エリア内の社会福祉施設との連携を深め、地域住民とともに取り組める活動について検討します。特に30年度は空き家の活用提案があり、その活用法のひとつに社会福祉施設の地域貢献を兼ねた取組を試行していきます。
- 得られた情報をデータベース化・分析するとともに、リスト化・マップへの落とし込みなどの可視化を進め、他職種や1層生活支援コーディネーターと共有します。

(3) 連携・協議の場

- 空き家活用提案をもとにした取組について、地域住民や社会福祉施設等と具体的な活用方法、運営体制等次年度の本格開始に向けた協議を進めます。
- 1層協議体との連携のもと、既に行われている活動の担い手同士の情報交換および活動の課題解決に向けて話し合う場を設けます。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- 複数の地域包括支援センターが担当エリアとなっている自治会の支援をはじめ、複数の地域ケアプラザが関係する活動や社会資源の把握については、近隣地域ケアプラザや区社協との情報共有・連携を進めます。
- 近隣地域ケアプラザとの情報共有や区生活支援コーディネーター連絡会の場で確認された、エリアを超えた地域課題については、1層生活支援コーディネーターや1層協議体との連携のもと、課題解決に取り組めます。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- 関係各方面に地域ケア会議への積極的な参加を呼びかけ、公民協働による包括的ネットワーク構築を進めます。
- 地域ケア会議、地域ケア支援会議の開催や地域福祉保健計画地区別計画の推進支援等を通じて、行政・地域包括支援センター・地域住民（民生委員児童委員等）の情報共有を進め、より質の高い見守り体制づくりを進めます。
- 事業所（ケアマネジャー等）の交流会や勉強会を企画・実施し、地域情報の共有を行います。

② 実態把握

- 地域の各会議・事業等への参加や、ケアプラザ自主事業の実施により情報やケースの把握・情報交換・共有を図ります。
- エリア内周辺の医療機関や居宅介護支援事業所等を定期的に訪問することで個別や圏域のニーズを把握します。
- 広報紙によるご意見募集、利用者アンケートやご意見箱等を活用することで、個別や地域のニーズ把握に努めます。

③ 総合相談支援

- 地域の皆さんが安心して相談できる身近な窓口として、即時対応・全員対応に努めます。
- 民児協との更なる連携強化を進めるために、毎回定例会へ参加し、情報交換や情報提供、個別相談を行います。
- 地域ケア支援会議等でケースに関する情報交換や支援方法を検討し、地域での見守り活動や継続的支援へつなげます。
- 各団体の定例会に参加し、相談の有無に関わらない顔の見える関係づくりを進めます。
- 自治会館を会場とした、出張相談窓口を開設し地域に根ざした相談対応を行います。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- 成年後見制度等の講座を開催し、各制度について地域住民へ広く周知を行います。
- 悪質商法・消費者被害についての啓発活動を消費生活推進員と共に行います。
- 旭区版エンディングノートを活用した連続講座を区役所・他ケアプラザと行い、権利擁護にかかる普及啓発をプラザから離れた場所で開催します。
- 横浜生活あんしんセンター等との情報共有により、個別ケース対応を丁寧に進めます。また、最新の動向把握に努め、地域住民へ周知・啓発を行います。

② 高齢者虐待への対応

- 虐待が疑われる場合は、迅速に区役所、関係機関等への情報提供を行い、必要に応じてネットワークミーティングを実施する等、チームとして対応を進めます。
- ケアプラザ内の介護保険事業部門（通所介護・居宅介護支援）、また地域団体や関係機関等と定期的に情報共有を行うことで、地域における高齢者の見守り支援体制づくりを進めます。
- 地域団体の定例会等を通じて、継続的に高齢者の人権について周知・啓発を行います。

③ 認知症

- 地域ケアプラザ単独での開催や、地域団体（旭区ひまわりの会）との協働開催で、認知症の正しい理解の普及啓発（サポーター養成講座等）などを行います。30年度は地元企業や商店にも普及啓発の取組に参加を呼びかけ、地域における見守りの輪の拡大を図ります。
- 地域ケアプラザを拠点として活動する「介護者の輪」への情報提供等により継続的な運営支援を行います。
- 地域における認知症カフェ運営の後方支援を行い、認知症の方やその家族が気軽に参加できる場づくりを行います。

（３） 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 各地域団体の定例会や地域行事、食事会等へ積極的に参加し、地域包括支援センターの役割や介護保険制度の説明等を行います。
- 特に、民生委員児童委員や自治会町内会役員には、個別の説明等を通じて地域住民とのつなぎ役として継続的に依頼していきます。また個人情報には充分配慮したうえで、地域での支えあい活動に活かせるよう、可能な範囲で地域に情報提供し、連携を図ります。
- エリア内で開催されるグループホームや小規模多機能型居宅介護の運営推進会議に出席し、日常の活動への不安や疑問が解決できるよう意見交換を行います。

② 医療・介護の連携推進支援

- エリア内の医療機関に訪問し、顔の見える関係づくりを進めます。
- エリア内の薬局が地域住民向けに行っているサロンの後方支援を行います。
- 区内医療機関等と共催で、広く地域住民を対象とした「医療講座」を開催します。
- 近隣地域包括支援センターとの協働により、ケアマネジャーと医療機関との情報交換会を実施します。

③ ケアマネジャー支援

- 面接、電話、メールなどでケアマネジャーからの相談に継続的に対応します。相談内容によっては同行訪問や区巡回相談、地域ケア支援会議等の定例の会議で課題解決に向けた検討を行います。
- 支援困難ケースは区巡回相談、地域ケア支援会議等の会議を活用し、行政や各関係機関と連携して支援を行います。また必要に応じて同行訪問やサービス担当者会議開催や事例検討等支援します。
- 区ケアマネジャー連絡会への支援を行います。
- 区役所と共催で、新人・就労予定ケアマネジャー研修を年2回開催します。

（４） 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- 地域ケア会議等について関係機関へ積極的な参加を呼びかけ、地域全体での包括的支援体制づくりを進めます。
- 地域包括支援センター3職種は主に個別支援を基本として、生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーターは地域支援の視点での参画、区役所・区社協は日常生活圏域を越えた区域での助言等、各職域の役割分担で効果的にネットワーク構築を進めます。
- 民生委員や自治会町内会、地区社協等へ働きかけを進め、また個別ケースにおいては当事者や家族へのアプローチを行うことで「自助・共助・公助」が重層的に機能

する地域づくりをめざします。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- 介護保険サービスのみならず、エリア内のインフォーマルサービスを把握し、要支援者及び地域のケアマネジャーに広め、ケアプラン上でも活用していただけるよう取組を進めます。
- 近隣地域包括支援センターとの協働により、勉強会等を通じて委託事業所ケアマネジャーとの連携を図り、地域の社会資源を活用したケアプラン作成について情報共有を進めます。
- 毎月定例で予防ミーティングを開催し、直営・委託のケース共有を行うと共に、事業対象者や要支援者の主体性、自立支援を目指したケアマネジメントが行えるよう取組を進めます。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- 「転ばん体操」の定期開催に加え、新たに茶話会とセットの「イキイキ」を開始し、気軽に運動や脳トレに参加・交流できる機会等、幅広く介護予防の取組を進めます。
- 「きずな」をケアプラザから離れた場所で行う等、介護予防講座を身近な場所に参加できる取組を進めます。
- 身近な地域での仲間づくり、体力維持を目的とした「健康広場」では、体操、口腔ケア、栄養教室、脳トレ等のプログラムで健康維持を考える機会として出張展開します。
- 多くの自主的な活動を増やし活発に行えるよう、ボランティアの育成に努めます。

その他

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

利用者本位の施設運営を目指し、次の事項を進めます。

- ① 運営スローガンである「まちぐるみ」ですすめる福祉保健活動の応援を基本として運営します。
- ② 個人情報厳密に取り扱い、漏洩事故を起こさない仕組みにより、ご利用者の安全と安心の確保に努めます。また、苦情についてはその大小に関わらず真摯に受け止め、事業や接遇が適切に実施できるよう反映させます。
- ③ 施設内の通路をはじめ各部屋、トイレ、洗面所等、誰もが使いやすいよう整理整頓を心がけます。
- ④ 協定書に基づき施設管理、清掃業務を適正実施します。経年劣化が進む建物整備について計画的な保守・補修・更新を適切に行います。
- ⑤ 入口カウンターの掲示を改良し、初めて窓口に来た方にも分かりやすい受付になるよう工夫します。

イ 効率的な運営への取組について

公的な施設の指定管理者としてケアプラザの役割を認識し、限られた予算内で適正な運営を行うため、経費の削減、資源の有効活用を心がけ、光熱水費の削減に努めます。

- ① 予算管理に基づく効率的な経営を実施します。
- ② 省エネ対策、リサイクル等を職員全員で意識を持って実践します。

ウ 苦情受付体制について

苦情を業務改善に必要な事由と捉え、施設・法人全体で苦情受付（対応）の体制構築を進めます。

- ① 苦情受付担当者及び実務責任者を置き、館内にわかりやすく掲示します。
- ② 職員一人ひとりが、「苦情解決」に積極的に取り組む事が出来るよう法人のマニュアルを用い適切に対処します。
- ③ 法人にて苦情解決調整委員会を開催し、苦情の報告及び評価を実施します。
- ④ 法人内で起きた苦情に対して情報を共有し、本施設でも起こりうる問題と意識し職員全体で苦情発生を未然に防ぐよう取り組みます。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

緊急時体制を確立し、公の施設として災害時の対応や防災・防犯の備えを行います。

- ① BCP（事業継続計画）の作成を進め、緊急時の迅速な対応に備えます。
- ② 年2回防災・消火・避難訓練を実施するとともに、ケアプラザ内外を含めた緊急時の連絡網を整備します。
- ③ 地域防災拠点との連携機関として行事等にも積極的に参加し、日頃から顔の見える関係をつくり、緊急時に備えます。
- ④ 緊急時対応マニュアルを職員全体で共有し、緊急時に備えます。
- ⑤ 福祉避難所運営について、旭区の動向に併せて対応できるよう体制強化します。
- ⑥ 災害等に備え、必要に応じて自宅から施設までの参集訓練を実施します。

オ 事故防止への取組について

法人が運営する施設の事故報告を集計分析し、法人内の所長会で報告を行い共有化します。その結果を受けて施設で、事故防止に向けた検討・対応を行います。

- ① 事故や感染症の発生、職員の労災等について法人全体で「リスクマネジメント」を行う仕組みをつくり、実施します。
- ② 事故対応マニュアルをはじめとする、各種マニュアルの整備を行います。
- ③ リスクマネジメント研修を実施し、意識向上・対応技術を向上させます。
- ④ 事故に至らないケースは、ヒヤリハット事例として職員全体で共有します。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報の保護については、法人の「保有する個人情報の保護に関する規程」および「地域ケアプラザ等における個人情報の取扱基準」を遵守します。

- ① 個人情報が含まれる書類等は施錠可能な専用棚での管理を徹底します。
- ② 個人情報の持ち出しにはチェック簿を作成し、相互チェックを行います。またFAXでの個人情報送付を原則禁止します。サービス提供票・実績などの郵送はダブルチェックを行い、誤送付を防止します。
- ③ 職員全体会議等を通じて個人情報保護研修を行います。

キ 情報公開への取組について

法人の情報公開制度を基にして、適切に取り扱います。情報公開用資料を窓口で常設し、施設概要やサービス内容等広報資料を見やすく、わかりやすく、常に最新の情報が提供されるよう更新します。

ク 人権啓発への取組について

職員全体会議を通じて、法人のコンプライアンス推進体制に基づく姿勢を全職員で点検するとともに、利用者の尊厳や専門職としての価値・倫理を学ぶ機会を設け、真の「利用者本位」を常に点検することができる取組を進めます。

ケ 環境等への配慮及び取組について

ごみの分別、少量化、再資源化に努めます。また光熱水費の削減のため、未使用の部屋の消灯や節水に努めます。消費電力については、LEDへの転換を行います。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

看護師	1名（常勤）
主任ケアマネジャー	1名（常勤）
社会福祉士	2名（常勤）
介護支援専門員	1名（非常勤）

《目標》

- 介護保険サービスのみならず、エリア内のインフォーマルサービスを把握し、要支援者また地域のケアマネジャーに広め、ケアプラン上でも活用していただけるよう取組を進めます。
- 近隣地域包括支援センターとの協働により、勉強会等を通じて委託事業所ケアマネジャーとの連携を図り、地域の社会資源を活用したケアプラン作成について情報共有を進めます。
- 毎月定例で予防ミーティングを開催し、直営・委託のケース共有を行うと共に、事業対象者や要支援者の主体性、自立支援を目指したケアマネジメントが行えるよう取組を進めます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 横浜市社会福祉協議会運営ケアプラザとして、地域・ご利用者最優先の取り組みを進めます。
- 担当者不在であっても、対応が滞らないよう、体制づくり・情報共有を行います。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
140	140	140	145	145	145
10月	11月	12月	1月	2月	3月
145	145	145	145	145	145

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1名（常勤兼務）
 介護支援専門員 4名（常勤1名、非常勤3名）

《目標》

利用者及び介護者の支援を常に意識し、自立支援を大切にした満足度の高いケアプランの作成を行います。「伴走型ネットワーク」の一角として、ご利用者一人ひとりの状況やご意向を踏まえ、適正・的確なケアプラン作成を目指します。ご本人の支援と併せ、地域包括支援センター・通所介護等との連携を更に深めることでご家族の支援を含めた「包括的支援」体制づくりを進めます。

- ① 利用者および介護者の立場となり、満足度の高いケアプランの作成を行うために、ケアマネジャーの資質向上を図ります。法人内研修/外部研修に積極的に参加するとともに、定期的にケースカンファレンスを開催し、ケアプランの内容について検討を行います。
- ② 地域包括支援センターと連携の基に「地域に求められる／地域に根ざした支援ができる居宅を目指す」ことをスローガンに、利用者が地域の中で安心して生活が送れるようにケアプランの作成を行います。
- ③ 区や地域包括支援センターが実施する研修会や連絡会等に参加し、他事業者の担当者顔の見える関係性を構築することで、関係者と協働してチームケアを重視したケアプラン作成およびサービス提供を行います。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》
 なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ご利用者一人ひとりのニーズに沿ったサービス計画を作成し、インフォーマルサービスも含め適切な情報提供を行います。
- 地域ケアプラザにある居宅介護支援事業所ということ意識し、質の高いサービス提供ができるよう地域包括支援センター等の他部門との連携に努め、協働して課題解決に取り組みます。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
110	115	115	120	120	125
10月	11月	12月	1月	2月	3月
125	130	130	130	130	130

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

生活の一部として安心安全にお過ごしいただけるよう、次のサービスを中心に提供します。

- 生活指導（相談援助等） ●機能訓練（体操・歩行練習、音読プログラムなど）
- 介護サービス（入浴・昼食・排泄等支援） ●健康状態の確認 等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 基本額	1割負担分	2割負担分
（要介護1）	599円	1,197円
（要介護2）	708円	1,415円
（要介護3）	816円	1,632円
（要介護4）	926円	1,851円
（要介護5）	1,034円	2,067円
● 加算額	1割負担分	2割負担分
入浴加算	54円	108円
口腔機能向上	161円	322円
個別機能訓練加算Ⅱ	60円	120円
体制強化加算Ⅰイ	20円	39円
体制強化加算Ⅰロ	13円	26円
体制強化加算Ⅱ	7円	13円
中重度ケア体制加算	49円	97円
認知症加算	65円	129円
介護職員処遇改善Ⅰ	所定単位数に1,000分の59を乗じた単位数を加算	
● 食費負担	750円（一律）	

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 10:15 ～ 15:20

《職員体制》

管理者	1名（常勤・兼務）	生活相談員	3名（常勤）
看護師	4名（非常勤・兼務）	介護職員	9名（非常勤）
機能訓練指導員	4名（非常勤・兼務）	運転員	4名（非常勤）

《目標》

専門職として果たすべき役割を明確にし、各分野でのスキルアップを目標に職員研修を実施し意欲向上を図ります。

ご利用者の要望と心身の状況に応じた通所介護計画書を作成し、6か月を基本に更新を行いより個別性を重視したサービス提供に努めます。

地域へ積極的に出向き、出張講座等にて事業の周知を図ります。

広報等を発行し、PR活動を行うとともに各居宅介護支援事業所へ実施内容や受け入れ状況などタイムリーな情報提供を行います。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

各プログラムは、地域のボランティア団体並びに貸室ご利用団体などの協力を得て実施します。また内容においては、ご利用者様お一人おひとりの個性や状況に応じたプログラムの実施を心がけます。

横浜市健康福祉局や教育実習生、地域の小中学校などからの実習・体験学習を受け入れます。

《利用者目標（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
660	660	660	690	690	690
10月	11月	12月	1月	2月	3月
710	720	670	670	670	740

● 介護予防通所介護・第1号通所事業—介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

生活の一部として安心安全にお過ごしいただけるよう、次のサービスを中心に提供します。

- 生活指導（相談援助等） ●機能訓練（体操・歩行練習、音読プログラムなど）
- 介護サービス（入浴・昼食・排泄等支援） ●健康状態の確認 等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 基本額	1割負担分	2割負担分
①事業対象者、要支援1	1,766円	3,531円
②要支援2<週1程度>	1,766円	3,531円
③事業対象者、要支援2<週2程度>	3,621円	7,241円
● 加算額	1割負担分	2割負担分
生活機能向上Gp活動	108円	215円
運動器機能向上	242円	483円
口腔機能向上	161円	322円
サービス複数実施I	515円	1,029円
体制強化加算Iイ		
①事業対象者、要支援1	78円	155円
②要支援2<週1回程度>	78円	155円
③事業対象者、要支援2<週2回程度>	155円	309円
体制強化加算Iロ		
①事業対象者、要支援1	52円	103円
②要支援2<週1回程度>	52円	103円
③事業対象者、要支援2<週2回程度>	103円	206円
体制強化加算II		
①事業対象者、要支援1	26円	52円
②要支援2<週1回程度>	26円	52円
③事業対象者、要支援2<週2回程度>	52円	103円
介護職員処遇改善I 所定単位数に1,000分の59を乗じた単位数を加算		
● 食費負担 750円（一律）		

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 10:15 ~ 15:20

《職員体制》

管理者	1名（常勤・兼務）	生活相談員	3名（常勤）
看護師	4名（非常勤・兼務）	介護職員	9名（非常勤）
機能訓練指導員	4名（非常勤・兼務）	運転員	4名（非常勤）

《目標》

専門職として果たすべき役割を明確にし、各分野でのスキルアップを目標に職員研修を実施し意欲向上を図ります。

ご利用者の要望と心身の状況に応じた介護予防通所介護計画書を作成し、6か月を基本に更新を行いより個別性を重視したサービス提供に努めます。

地域へ積極的に出向き、出張講座等にて事業の周知を図ります。

広報等を発行し、PR活動を行うとともに各居宅介護支援事業所へ実施内容や受け入れ状況などタイムリーな情報提供を行います。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

各プログラムは、地域のボランティア団体並びに貸室ご利用団体などの協力を得て実施します。

また内容においては、ご利用者様お一人おひとりの個性や状況に応じたプログラムの実施を心がけます。

横浜市消防局や教育実習生、地域の小中学校などからの実習・体験学習を受け入れます。

《利用者目標（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
16	16	16	16	16	16
10月	11月	12月	1月	2月	3月
16	16	16	16	16	16

平成30年度 横浜市上白根地域ケアプラザ
収支予算書及び報告書(一般会計)<地域活動>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,431,160		16,431,160	16,431,160	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0		0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	この列は入力しない
駐車場利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	2,380,000		2,380,000	2,380,000	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,359,000		1,359,000	1,359,000	0	
収入合計	20,170,160	0	20,170,160	20,170,160	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,702,000		11,702,000	0	11,702,000	
本俸	7,317,000		7,317,000	0	7,317,000	
社会保険料	735,000		735,000	0	735,000	
手当計	1,900,000		1,900,000	0	1,900,000	
健康診断費	20,000		20,000	0	20,000	
勤労者福祉共済掛金	28,000		28,000	0	28,000	ママふりしど
退職給付引当金繰入額	1,702,000		1,702,000	0	1,702,000	
その他	0		0	0	0	
事務費	1,930,000		1,930,000	0	1,930,000	
旅費	40,000		40,000	0	40,000	
消耗品費	400,000		400,000	0	400,000	
会議随費	3,000		3,000	0	3,000	
印刷製本費	20,000		20,000	0	20,000	
通信費	100,000		100,000	0	100,000	
使用料及び賃借料	0		0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	500,000		500,000	0	500,000	
図書購入費	25,000		25,000	0	25,000	
施設賠償責任保険	70,000		70,000	0	70,000	
職員等研修費	20,000		20,000	0	20,000	
振込手数料	5,000		5,000	0	5,000	
リース料	567,000		567,000	0	567,000	
手数料	150,000		150,000	0	150,000	
地域協力費	10,000		10,000	0	10,000	
その他	20,000		20,000	0	20,000	
事業費	278,000		278,000	0	236,000	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	予算・指定額
指定管理料充当 事業	236,000		236,000	0	236,000	
管理費	5,324,000		5,324,000	0	2,112,000	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算・指定額
光熱水費	3,212,000		0	0	0	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	この列は入力しない
水道料金			0	0	0	
清掃費	826,000		826,000	0	826,000	
修繕費	474,000		474,000	0	474,000	予算・指定額
機械整備費	117,000		117,000	0	117,000	
設備保全費	695,000		695,000	0	695,000	
空調衛生設備保守	306,000		306,000	0	306,000	
消防設備保守	20,000		20,000	0	20,000	
電気設備保守	233,000		233,000	0	233,000	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	136,000		136,000	0	136,000	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
公租公課	936,160	0	936,160	0	936,160	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	936,160		936,160	0	936,160	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
リース対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	20,170,160	0	20,170,160	0	16,916,160	
差引	0	0	0	20,170,160	△ 16,916,160	

自主事業費収入	236,000		236,000	0	236,000	
自主事業費支出	236,000		236,000	0	236,000	
自主事業収支	0	0	0	0	0	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度 横浜市上白根地域ケアプラザ

収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	28,920,000		28,920,000		28,920,000	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000		151,000	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0		0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0		0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0		0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0		0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当分)	0		0		0	
その他(提案時控除 法人負担分)	2,397,000		2,397,000	2,397,000	0	
収入合計	37,257,000	0	37,257,000	2,397,000	34,860,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,689,000	0	32,689,000	0	32,689,000	
本俸	13,871,000		13,871,000		13,871,000	
社会保険料	3,616,000		3,616,000		3,616,000	
手当計	7,969,000		7,969,000		7,969,000	
健康診断費	42,000		42,000		42,000	
勤労者福祉共済掛金	50,000		50,000		50,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	7,141,000		7,141,000		7,141,000	
その他	0		0		0	
事務費	1,844,000	0	1,844,000	0	1,844,000	
旅費	100,000		100,000		100,000	
消耗品費	470,000		470,000		470,000	
会議随費	20,000		20,000		20,000	
印刷製本費	50,000		50,000		50,000	
通信費	290,000		290,000		290,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0				0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	320,000		320,000		320,000	
図書購入費	34,000		34,000		34,000	
施設賠償責任保険	90,000		90,000		90,000	
職員等研修費	50,000		50,000		50,000	
振込手数料	5,000		5,000		5,000	
リース料	300,000		300,000		300,000	
手数料	100,000		100,000		100,000	
地域協力費	0		0		0	
その他	15,000		15,000		15,000	
事業費	1,308,000	0	1,308,000	0	1,308,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	218,000		218,000		218,000	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	151,000		151,000		151,000	
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000		309,000	予算:指定額
管理費	1,416,000	0	1,416,000	0	1,416,000	
建築物・建築設備点検	0		0		0	予算:指定額
光熱水費	854,000	0	854,000		854,000	
電気料金			0		0	
ガス料金			0		0	この列は入力しない
水道料金			0		0	
清掃費	220,000		220,000		220,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算:指定額
機械警備費	31,000		31,000		31,000	
設備保全費	185,000	0	185,000	0	185,000	
空調衛生設備保守	81,000		81,000		81,000	
消防設備保守	6,000		6,000		6,000	
電気設備保守	62,000		62,000		62,000	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	36,000		36,000		36,000	
共益費	0		0		0	
その他	0		0		0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他()			0		0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当施設設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	37,257,000	0	37,257,000	0	37,257,000	
差引	0	0	0	2,397,000	△ 2,397,000	

自主事業費収入	0					
自主事業費支出	0					
自主事業収支	0			0		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				0		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				0		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市上白根地域ケアプラザ

平成30年4月1日~平成31年3月31日
(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	4,090		4,090	16,124		16,124	58,214		58,214			0
	その他	4,090	0	4,090	1,381	0	1,381	12,931	0	12,931	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント費	4,090		4,090	0		0	0		0			0
	事業・負担金収入	0		0	0		0	6,467		6,467			0
	委託事業収入(委託介護認定調査・介護予防原案作成)	0		0	1,381		1,381	0		0			0
	利用料収入	0		0	0		0	6,183		6,183			0
		0		0	0		0	0		0			0
	その他	0		0	0		0	281		281			0
	収入合計(A)	8,180	0	8,180	17,505		17,505	71,145		71,145	0	0	0
	支出	人件費	2,643		2,643	15,634		15,634	46,829		46,829		
事務費		8		8	45		45	253		253			0
事業費		152		152	857		857	19,360		19,360			0
管理費		0		0			0			0			0
その他		4,107	0	4,107	744	0	744	2,376	0	2,376	0	0	0
利用者負担軽減額		0		0	0		0	0		0			0
消費税		0		0	0		0	0		0			0
介護予防プラン委託料		4,107		4,107	0		0	0		0			0
拠点区分間繰入金支出		0		0	744		744	2,376		2,376			0
その他		0		0	0		0	0		0			0
支出合計(B)	6,910	0	6,910	17,280	0	17,280	68,818	0	68,818	0	0	0	
収支 (A)-(B)	1,270	0	1,270	225	0	225	2,327	0	2,327	0	0	0	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

平成30年度 自主事業収支計画書

横浜市上白根地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
おもちゃの貸し出し	子ども	0	地活	0	0	0	0	0	0
	制限なし		包括	0					
	無料		生活	0					
図書コーナー	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	制限なし		包括	0					
	無料		生活	0					
福祉用具の貸し出し	地域	16,000	地活	16,000	0	0	0	10,000	6,000
	制限なし		包括	0					
	無料		生活	0					
上白根ギャラリー	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	制限なし		包括	0					
	無料		生活	0					
お茶のみサロン	高齢者	112,750	地活	13,750	99,000	0	10,000	102,750	0
	45人		包括	0					
	200円		生活	0					
合同歌声喫茶2018 (収支は実行委員会)	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	全体で450人程度		包括	0					
	500円		生活	0					
上白根ふれあい農園	地域	38,000	地活	38,000	0	0	0	38,000	0
	10人		包括	0					
	無料		生活	0					
ふらざ・かふえ・ゆるり	地域	30,000	地活	6,000	24,000	0	0	30,000	0
	20人		包括	0					
	200円		生活	0					
A2ライン共催事業 「七夕まつり」	親子	0	地活	0	0	0	0	0	0
	70人		包括	0					
	無料		生活	0					
親子deイベント 「梅雨を吹きとばせ！親 子でお祭りさわぎ」 (親子サークル遊 共催)	親子	3,000	地活	1,000	2,000	0	0	3,000	0
	20人		包括	0					
	一般参加者のみ100円		生活	0					
上白根カラオケ倶楽部	地域	8,000	地活	8,000	0	0	0	8,000	0
	20人		包括	0					
	無料		生活	0					
ママのための ヒーリングヨガ講座	親子	50,000	地活	5,000	45,000	0	50,000	0	0
	15人		包括	0					
	300人		生活	0					
リトミック	親子	66,000	地活	6,600	59,400	0	66,000	0	0
	18人		包括	0					
	300円		生活	0					
白根学園「麦の丘」 パン販売	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	30人		包括	0					
	無料		生活	0					
花だんづくり	子ども	29,000	地活	29,000	0	0	0	29,000	0
	20人		包括	0					
	無料		生活	0					
子どもの居場所 兼学習支援	子ども	537,560	地活	537,560	0	0	459,000	50,000	28,560
	20人		包括	0					
	無料		生活	0					

平成30年度 自主事業収支計画書

横浜市上白根地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
上白根地域ケアプラザ 草刈り大作戦！	地域	4,110	地活	4,110	0	0	0	4,110	0
	10人		包括	0					
	無料		生活	0					
かみしらねキッズ倶楽部	子ども	24,000	地活	14,000	10,000	0	13,000	11,000	0
	20人×3回		包括	0					
	①,②200円/③100円		生活	0					
横浜旭陵高校 地域貢献デー	高校生	0	地活	0	0	0	0	0	0
	30人		包括	0					
	無料		生活	0					
旭ふれあい区民まつり 行政・PRコーナー出店	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	制限なし		包括	0					
	無料		生活	0					
ジュニアボランティア	子ども	0	地活	0	0	0	0	0	0
	30人		包括	0					
	無料		生活	0					
医療講座	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	40人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活	0					
貸館団体 利用調整会議	地域	5,000	地活	5,000	0	0	0	5,000	0
	40人		包括	0					
	無料		生活	0					
A2ライン共催事業 「ひなまつり」	親子	0	地活	0	0	0	0	0	0
	100人		包括	0					
	無料		生活	0					
教えて！グランマ	地域	3,000	地活	3,000	0	0	3,000	0	0
	30人		包括	0					
	無料		生活	0					
上白根コミュニティハウス共催 さくらまつり出店	地域	10,000	地活	10,000	0	0	0	10,000	0
	制限なし		包括	0					
	無料		生活	0					
啓発事業(仮称)	地域	100,000	地活	100,000	0	0	60,000	0	40,000
	40人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活	0					
ワイワイあさひ (夏まつり・クリスマス会) (収支は団体)	障害者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	70人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活	0					
認知症サポーター 養成講座	地域	0	地活	0					
	30人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活	0					
白根おれんじカフェ	地域	0	地活	0					
	制限なし		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活	0					
司法書士が伝授する 無料のセミナー&相談会	地域	0	地活	0					
	36人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活	0					
旭区版 エンディングノート 活用講座	地域	0	地活	0					
	36人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活	0					

平成30年度 自主事業収支計画書

横浜市上白根地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
いこいの広場 (脳トレ教室)	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	45人		包括	0					
	無料		生活	0					
介護者の輪	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	10人		包括	0					
	無料		生活	0					
介護予防教室 「2018 転ばん体操」 (①前期・②後期)	地域	60,000	地活	0	60,000	0	60,000	0	0
	30人		包括	0					
	1,000円		生活	0					
健康測定会	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	制限なし		包括	0					
	無料		生活	0					
脳トレ・体操サロン 「イキイキ」	地域	55,500	地活	0	27,500	0	0	27,500	0
	25人		包括	28,000					
	100円×11回		生活	0					
筋力維持体操「きずな」 (東急白根自治会館)	地域	71,520	地活	0	0	0	60,000	0	11,520
	18人		包括	71,520					
	無料		生活	0					
介護予防体操 スキルアップ講座	地域	60,000	地活	0	0	0	60,000	0	0
	25人		包括	60,000					
	無料		生活	0					
くつろぎの場 介護予防講座 (白根台第九団地自治会)	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	20人		包括	0					
	無料		生活	0					
健康広場 (東急白根自治会館)	地域	46,680	地活	0	0	0	26,000	13,000	7,680
	20人		包括	46,680					
	無料		生活	0					
かみしらね 福祉アカデミー	介護支援専門員	0	地活	0	0	0	0	0	0
	36人		包括	0					
	無料		生活	0					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業計画書

横浜市上白根地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おもちゃの貸し出し	地域の子育てサロンや個人宅での親子の交流に使用してもらうことを目的として、「手づくりボランティア」が制作した布おもちゃを中心に、地域ケアプラザで保管するおもちゃの貸し出しを実施します。	随時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
図書コーナー	子どもが気軽に立ち寄ってもらえるよう、また図書館に一人で行くのが困難な方にも気軽に本を読んでもらえるよう、図書の貸し出しや地域ケアプラザで読書できる機会を提供します。	随時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉用具の貸し出し	地域ケアプラザで保有する福祉用具を、緊急・一時的に必要とする方向けに貸し出しを実施します。	随時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
上白根ギャラリー	地域住民が制作した絵画や写真等の作品を展示できる場を提供します。	随時

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お茶のみサロン	概ね65歳以上の高齢者（独居高齢者、高齢者世帯）の閉じこもり防止・外出機会の創出や仲間づくりの場の提供を目的として実施します。 共催：ボランティアグループ「すみれ会」	毎月第3土曜日 (8月を除く) 計11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
合同歌声喫茶2018	歌を通じての社会参加と仲間づくりを目的として区内全地域ケアプラザ合同で開催します。	5月 計1回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
上白根 ふれあい農園	ケアプラザ空きスペースを有効活用し、野菜や花を育て、収穫物を自主事業等に使用します。 また、畑仕事を通じた地域住民の交流、ボランティアの発掘・育成を目的に実施します。	4-3月 概ね第2金曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぶらざ・かふえ・ゆるり	地域住民が気軽に立ち寄れる居場所、世代間交流の場として、またコーヒーボランティアの活動の場所として実施します。	毎月第2火曜日 計12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
七夕まつり (A2ライン[旭北地区子育て支援運営委員会]共催)	旭北地区の子育て中の親子を対象として、仲間作りや気軽に相談できる関係づくりを目的として開催します。 (流しそうめん、手遊び、パネルシアター等)	7月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子deイベント 「梅雨を吹きとばせ！親子でお祭りさわぎ」 (親子サークル遊共催)	就園前の親子を対象に、親子サークル「遊」と共催し、居場所づくり・ふれあいの場を提供します。	6-7月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
上白根カラオケ倶楽部	地域住民の交流の場、また脳トレの一環としてカラオケ倶楽部を実施します。	4-3月 第3水曜日(午前) 毎週木曜日(夜間) 第4金曜日(午後) 計73回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママのためのヒーリングヨガ講座	ヨガを通して健康を意識するとともに、子育て中の保護者の交流、仲間づくりの場の提供を目的に実施します。	5~2月 第4火曜日 計10回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
リトミック	乳幼児の親子の交流と地域の仲間づくりを目的とした場の提供として実施します。	4-3月(8月除く) 第4金曜日 計11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
白根学園 「麦の丘」 パン販売	地域の障がい福祉事業所との共催で、障がい当事者の外出機会と地域住民との交流を目的として実施します。	4-3月 第3金曜日等 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
花だんづくり	地域の個別支援級に通う小学生の親子を対象に、ケアプラザ敷地内で花だんづくり等の余暇支援事業として実施します。また、緑化整備と地域住民との交流をねらいに農園ボランティアの協力を得て実施します。	5・7月 第1土曜日 9・10月 第3土曜日 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子どもの居場所 兼学習支援	ケアプラザ近隣在住の小学生の居場所づくりと学習支援を兼ね、地域ボランティアによる異世代交流の場として実施します。	4～3月 毎週火曜日 (祝日を除く) 計51回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
上白根地域ケア プラザ 草刈り大作戦!	ケアプラザ周辺の環境整備と登録団体Ⅱの交流、福祉保健活動を目的に実施します。	6・10月 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かみしらね キッズ倶楽部	地域の小学生の夏休み余暇支援として実施します。 ①バターづくり ②キャンドルづくり ③ゾウふんペーパーづくり	7月 計3回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
横浜旭陵高校 地域貢献デー	横浜旭陵高校からの依頼で、高校生の地域貢献を目的として実施します。 (地域清掃、通所介護利用者との交流等ボランティア活動)	9月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭ふれあい 区民まつり 行政・PRコー ナー出店	区内ケアプラザPRのため、区民まつりにブースを出店します。(区内地域ケアプラザ共催)	10月 計1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ジュニア ボランティア	小学生の福祉啓発を目的として、地域の民生委員児童委員との協働によりケアプラザ内で福祉体験を実施します。	11月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医療講座	地域包括支援センターとの共催で、区内医療機関や薬剤師会等との連携で、地域住民向け医療講座を実施します。	10-12月 計5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸館団体 利用調整会議	貸館登録団体同士の情報交換とケアプラザのよりよい利用について調整する場として、定期的な説明と利便性の向上を目的として実施します。	2月 計2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ひなまつり (A2ライン[旭 北地区子育て支 援運営委員会] 共催)	旭北地区の子育て中の親子を対象として、仲間作りや気軽に相談できる関係づくりを目的として開催します。 (豚汁、手遊び、パネルシアター等)	2月 計1回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
教えて！ グランマ	「手づくりボランティア」の協力のもと、入園・入学グッズを制作しながら、異世代交流・地域の仲間づくりの場として実施します。	2月 計3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
上白根コミュニティハウス 共催 さくらまつり 出店	上白根コミュニティハウスのお祭りにケアプラザブースとして出店し、地域ケアプラザのPR、参加者の健康増進意欲向上及び住民ニーズの把握として、アンケートを実施します。	3月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
啓発事業 (仮称)	エリア内の福祉推進にかかるテーマ別の講座、展示会等、地域住民への福祉保健啓発を目的に実施します。 (参考：29年度はドキュメンタリー映画自主上映会、障がい福祉セミナーを実施)	随時 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ワイワイあさひ 事業	障がい当事者の余暇支援、地域住民との交流を目的として「ワイワイあさひ」実行委員会の共催事業により実施します。 ①夏まつり ②クリスマス会	①8月 ②12月 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター 養成講座	地域住民を対象に、認知症の正しい理解により、身近な理解者・応援者となるべくサポーターを養成するため実施します。	5, 7, 9, 11, 2月 計5回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
白根おれんじ カフェ	白根ゆり薬局で毎月実施している認知症カフェに協力し、身近な地域での理解啓発活動を支援します。	4-3月 計12回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
司法書士が 伝授する 無料のセミナー &相談会	老後のお金、遺言、相続、成年後見制度等の理解促進を目的としてセミナーを実施します。	9月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭区版 エンディングノート 活用講座	旭区版エンディングノートの普及啓発を目的として、区内各地域ケアプラザ等との共催で実施します。	10-12月 計3回(1講座)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いこいの広場 (脳トレ教室)	脳の活性化や認知症予防に関心のある概ね65歳以上の方を対象に、参加者同士の交流、脳トレや体操を通じた介護予防の啓発事業を実施します。	4-9 第1月曜日 計6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者の輪	介護している立場の方同士で語らうことで、リフレッシュや今後の生活に活かすことのできる機会として実施します。	4-3月 第1火曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防教室 「2018 転ばん体操」 (①前期・②後期)	運動が苦手な方でも気軽に参加でき、参加者同士の交流、運動や脳トレを行う機会づくり等、介護予防の取組として実施します。	①5-9月 ②10-3月 第2水曜日 計11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康測定会	地域ケアプラザ、介護予防の普及啓発を目的として、自身の健康について理解していただく機会として実施します。	4月 計1回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳トレ・体操サロン 「イキイキ」	脳トレや体操を行うサロンとして、楽しく介護予防を進めるとともに、仲間づくりを目的として実施します。	5-3 第1水曜日等 計11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
筋力維持体操 「きずな」	自主的な介護予防活動の育成・支援を目的として、ケアプラザから遠い住民でも身近に参加できるよう、自治会館等を活用した出張事業として実施します。	5-3月 第1水曜日 計11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防体操 スキルアップ 講座	ケアプラザの介護予防事業参加者が、身近な地域で自主的に活動できるためのスキルアップを目的として実施します。	4-7 第2金曜日 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
くつろぎの場 介護予防講座	地域住民が集う場にかがいで、介護予防にかかる講座を実施し、健康や介護予防について理解を深める機会として実施します。	5, 6, 10, 3月 第3月曜日 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康広場	体操、笑いヨガ、口腔ケア、栄養講座等のプログラムで、あらゆる面から健康づくりを考える介護予防事業として実施します。	7-2月 第2木曜日 計8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かみしらね 福祉アカデミー	主にエリア内や周辺のケアマネジャーを対象に定期的な研修、情報交換の場として実施します。 ＜主なテーマ＞ 地域ケア会議・生活習慣病・基幹相談支援センター・認知症・ケアマネジメント・面接技術 (ひかりが丘・今宿西各地域ケアプラザと共催)	5, 6, 9, 10, 12, 2月 計6回